

アノ箱舟

登場人物

おっさん(42)  
ゾク(17)  
シンナー(16)  
ウソップ(16)  
リスカ(17)  
ヒッキー(16)  
エンコー(17)  
男  
女  
エンコーの父  
ゾクの母  
若い男の声/ねずみ男

季節は夏。

3段ベットが2つ計6つのベット。両側にはしご。その側にイスが一脚。  
アクリル製の大きな水槽には水が満たしてある。  
舞台両脇から扇状に客席まで伸びる木製の物体

物語はオッケー牧場と各登場人物の過去の回想（場所はその時々で異なる）から進む。

雨音

●男の自宅（夜）

男の声　　ただいま…

男登場し濡れた傘のしずくをはらう。主張帰りのような姿。

男　　電話したんだぞ、電気くらいつけとけ（あたりを見回し）なんだいないのか…（イスに座る）

雨音にシャワーの音が重なる

●ホテルの一室（夜）

若い男の声　　お前も来いよ  
エンコー　　（毛布にくるまって登場し座る）  
若い男の声　　ジャグジーじゃん、すっげ

浴槽にお湯をはる音  
水槽の水が泡立つ。少しづつだか、水かさが増していく。

水夫の衣装を着け、潜望鏡のようを持ったウソップとヒッキーが登場

ウソップ　　ピコン、ピコン、ピコン、かすかな反応をキャッチ、北北南に進路を取れ  
ヒッキー　　了解！…ってどっちよ、北の北の南って

ウソップ　　つまりは、逆の逆みないな、真逆の逆的な  
ヒッキー　　し！静かに、確かにこっちのレーダーにも反応あり、ネズミは近い！！

二人は舞台をゆっくりと歩き回る

男　（お湯をはる音に気がつき）なんだいるのか、返事ぐらいしろよ

若い男の声　　なにしてんだよ、早く来いって

お湯の音がじょじょに高鳴り、風呂桶がぶるかる音がこだまする。  
水槽の水が床に溢れ出す。

男　出しっ放しじゃないのか、おい、おい（退場）

男と入れ替わるようにおっさん、ウイスキー瓶とグラスを持ち登場、もう酔っている様子。エンコーの前を通り過ぎ、どっかりと座る。  
水槽の水はあふれ続ける。

エンコー　古代イスラエルの国に、ノアという正しい人がいた。神は人間の墮落した様子を見て怒り、彼らを全滅させることにした。しかし、その中にいた、正しく潔白なノアは別であった。神はノアに箱舟を作るよう命じた。その後、洪水が起こった。それは百五十日間続き、罪深いアダムとイヴの子孫を全滅させた…おわり

おっさん　　おわり？なんかないの、その後の後日談みたいな、でも村は救われました的ななんか  
エンコー　　終劇

「ドーン」とどらを鳴らす、ウソップとヒッキー

おっさん　　怖い、神様怖い

エンコー静かに退場

ウソップ　　ピコンピコンピコン…  
ヒッキー　　ピコンピコンピコン

おっさん　　墮落したって…墮落したっていいじゃん、オレなら言うよ、ダラクした人間みたら、言っちゃうよ…OK牧場

アルプス的な楽しい音楽

●オッケー牧場（朝、外）

おじいさんに扮したゾク、ヤギに扮したリスカ、ペーターに扮したシンナー登場

おっさんは手作りのアルプスの風景画を舞台置くの壁に貼っている

ゾク　　（付け髭にカミソリをあて）あははは、あははは、切れてない、あはははは

リスカ　　メー、メー

シンナー　（ビニール袋で空気を集め、イッた目で吸う）アルプスの空気はう

リスカ　　メー

ゾク　　この辺でお昼にするかの、みんな集まりなさい（重箱を出す、中におにぎりとしし草がある。ヤギには干し草を無造作に投げる）

ゾク　　おや、おかかじゃないかい、ありがとうばあさん（一口食べ）う

リスカ　　メー

ゾク　　う

リスカ　　メー  
シンナー　　(ビニール袋で空気を吸い込み) アルプスの空気最高  
おっさん　　はいやめ…集合! だらだら走らない! なんだ今の?  
ゾク　　練習通りじゃん  
おっさん　　どこが、アルプス色ゼロ、なにシンナー吸ってんのお前  
シンナー　　ただの空気だよこれ  
おっさん　　紛らわしいんだよそれ、イッ目すんな、なーここアルプスよ、なんだその重箱、立派な重箱だなそれ  
シンナー　　ひでひら塗り  
おっさん　　何塗りでもいいよ  
シンナー　　(中から日焼けした志垣太郎のプロマイドを出し) しがらき焼き  
おっさん　　で、リスカ  
リスカ　　なに  
おっさん　　もっかいメーやってみ  
リスカ　　メー  
おっさん　　もっかい  
リスカ　　メー…メー  
おっさん　　メーリーゴーランド  
リスカ　　メーリーゴーランド  
おっさん　　…ゾクさっきのはなしだけど  
リスカ　　言わしただけ?  
おっさん　　なんか違うんだよな、お前のメーからさ、ある晴れた昼下がり、市場へ続く道見えない  
リスカ　　別にいいじゃん  
おっさん　　よくないよ、何にもよくない、今日は新しいお友達を向かえる日ざます、謳ってるんですよ、アルプ斯的を、だもんでゾクお前一時間で金髪にしる  
ゾク　　無理だよ  
おっさん　　じゃ金齒  
ゾク　　なんだよそれ  
おっさん　　とにかくなんか金髪せ、アルプ斯的に、な、じゃおっさん着替えてくるから、ウインク(退場)  
リスカ　　気持ちワリーよ  
ゾク　　普通に無理じゃねー、金髪とか  
シンナー　　あ  
ゾク　　どうした  
シンナー　　スーパーサイヤ人なればいいんじゃない  
ゾク　　そっか…うううう、なれないよオレ  
リスカ　　なんだ期待したのに  
ゾク　　すんなよ、一ミリもすんな  
シンナー　　じゃ、あの絵にさ、木増やす?  
ゾク　　そういう問題か  
シンナー　　松とかかいちゃう  
リスカ　　松はどうだろうね…  
シンナー　　…アルプス一万尺、隣の家で、アイロン仕立てのシャツ着替えましょう、らんらんらんらんらんらんらん、らんらんらんらんらんらんらん  
ゾク　　なに歌ってんの  
リスカ　　らんらんらんらんらんらん  
ゾク　　ノンなよお前も  
リスカ　　だってヒマなんだもん、はら減ってきたし  
ゾク　　だな、リスカなんか作って  
リスカ　　今日の当番シンナーじゃん

二人シンナーを見る。シンナー自分の世界に入っている様子

二人顔を見合わせじゃんけん。リスカが負け渋々台所へ向かい退場。ゾクもそれに続く

シンナー、二人の退場に気がつかない様子で、空気を集めて吸っている

●シンナー（下校途中）

ランドセルをしょい、黄色の帽子を被った子供1 2 登場(1-ウソップ、2-ヒッキー)

子供1　　ねーね幸司君聞いてもいい  
子供2　　うふふふ  
シンナー　　なに  
子供1　　幸司君のママってどんな仕事してるの  
シンナー　　知らない  
子供2　　ママの仕事も知らないの  
シンナー　　別にいいじゃない  
子供2　　夜はお家にいるの  
シンナー　　いるときもあるよ  
子供1　　じゃいない時はどこに行ってるの  
シンナー　　知らない、別にいいじゃな  
子供2　　私知ってる  
子供1　　なにになに  
子供2　　幸司君のママはホステスなの、そうでしょう  
シンナー　　知らないよ  
子供1　　ホステスって何  
子供2　　キャバレーで働く人  
子供1　　キャバレーって何  
子供2　　エッチな所  
子供1　　えーじゃ幸司君のママエッチなの  
シンナー　　違うよ  
子供1　　じゃーなんでキャバレーで働いてんだよ  
シンナー　　だから知らないって  
子供1 2 3　　エッチエッチ、エッチエッチ  
シンナー　　（ビニール袋を被り耳を塞ぐ）  
子供1 2 3　　エッチエッチ、エッチエッチ、エッチエッチ

ねずみ男登場　　棒で子供1 2を殴る

子供1 2　　泣きながら退場

ねずみ男退場

●オッケー牧場（朝、外）

アルプス的な音楽

ゾク、リスカ登場。ゾクは小瓶に入れた牛乳を必死に混ぜている。  
シンナーポケットから干し草を取り出し、リスカに食べさせようとしている

リスカ　　メーメー

おっさん、見えない親達、2人を伴って登場

おっさん　　我が学園の基本理念はただ一つ、自然回帰であります。しかし自然とは偉大ですな、特にこのアルプス的な自然は最高です、彼をご覧下さい。以前は地元でも有数の手に負えないワルだったそうですが

ゾク　　ブーンブブブ、ブーンブブ

おっさん　今じゃほらブンブンしながらバターこさえてる、あ、お母さん、心配ありませんから…ごみごみした空気、ぎすぎすした人間関係、そんな場所で問題のあるお子さんを再生しようとしても限界がある、しかしここアルプス的な牧場でしたら…はい、勿論です、ほら、あっちの彼なんか直でヤギの乳飲んでる

シンナー慌ててリスカの乳を吸う

おっさん　どうだ新鮮か？

シンナー　新鮮です

おっさん　だそうです、あの子なんか来た当時は右と左の区別もろくにつかなかった、なのに今じゃ

シンナー　レフト、ライト、レフトライト

おっさん　ご理解いただけましたか…ありがとうございます、それでは事務室で手続きの方を…大丈夫心配いりません、電話もありますし…はい、ではこちらの方へ（見えない親達を伴いた退場）

リスカ　行った？

ゾク　ああ、行った

リスカ　いつまで吸ってんだよ

シンナー　今日出ねーな

リスカ　出ねーよ、いつだって出ねーよ

シンナー　そうなんだ…げんなり

リスカ　げんなりすんなよ、それじゃまるであたしがノリわりー子みたいじゃん、なんか女の子の日みたいじゃん

シンナー　ああ…

リスカ　違うよ、違うって

ゾク　（体育座り）ファイト

リスカ　だから違うつうの、つか打ち合わせと違うくねーもうー

3人、奥にいる新人に目をやる

ゾク　つうかおい、そんな所にいねーでこっち来いよ

ウソップ、ヒッキーもももぞと両手に私物の入ったバックを持ち登場。シンナーが気になる様子

シンナー　（ブニール袋で空気を吸う）あ、これ空気ね

ゾク　よ

ウソップ　触んなよ

ゾク　いや触ってないし

ウソップ　オレに指図すんな

リスカ　いやまだ何も言ってじゃん

ウソップ　オレは空手3段だ…熊殺した事ある、うちの親戚にやくざの組長がいたかんな、オレに手出したらお前からみんな蜂の巣だぞ

ゾク　こいつ面白いね

ウソップ　狼が出たぞー

リスカ　ええ！！

ウソップ　嘘

リスカ　嘘かよ

ゾク　ま、座ろ

ウソップ　いやだ

ゾク　しょうがねーな、じゃ簡単に自己紹介、オレはゾク

リスカ　あたしはリスカ

シンナー　僕どらえもんです…シンナーです

ゾク　じゃお前

ウソップ　え…

ゾク　お前ウソップにしよう

リスカ　それいい

ウソップ やだよ  
ゾク じゃお前ウソップ決定、君は？  
ヒッキー (爪をかんでいて無言)  
ゾク …まいいや、どっちにしろ、仲良くやってかなきゃいけないんだから、よろしく  
ウソップ 勝手に決めてんじゃねーよ  
ゾク は  
ウソップ 帰る(去る)  
ゾク 待てよ(追い、肩をつかむ) 待てよ  
ウソップ なんだよ、触んな  
ゾク 帰るって、ウソップ、お前どこ帰んの  
ウソップ 家に決まってんじゃん  
ゾク あー  
ウソップ あーってなんだよ  
ゾク お前なんにもわかってねーな  
ウソップ は  
ゾク お前の帰る場所なんてねーよ  
ウソップ なに言ってんのこいつ  
ゾク お前捨てられたんだよ  
ウソップ はあ  
ゾク 聞こえただろう、捨てられたの、お前なんかいないんだって  
ウソップ 意味不明…(真実を確かめるように退場)  
ゾク 君もさ、そういう事だからハラ決めてね、そんな爪かむな、それアレだってよ、さみしいっていうアレ  
ヒッキー さみしくなんかありません(靴下を脱ぎ足の爪をかむ)  
リスカ 足の爪かんじゃったよこの子、なに寂しがりやっていうよりも、爪全体かむのが好きな子？  
ヒッキー (荷物を持ったまま、はしごを駆け上がり、3段目のベットに閉じこもる)  
シンナー 行っちゃったね…つうかゾクさーあそこまで言わなくても  
ゾク 現実知らねー方かわいそうだろ  
シンナー うん

おっさんラフな服装に着替え登場

おっさん あれ、おこさん達は  
ゾク どっか行ったよ  
おっさん どっかって？  
ゾク さー  
おっさん さーじゃねーだろお前、最初が肝心なんだから、園長の挨拶は？  
リスカ 誰だよ園長って  
おっさん え？…ま、いっか、じゃ午前中つり！  
シンナー イェーイ！！  
ゾク そのリアクション古くね  
おっさん 行くぞ

おっさんに続きゾク、シンナー退場

競馬中継の音が流れる

●エンコー(家の中)

エンコーの父、携帯ラジオをぶら下げ登場しイヤフォンから競馬中継を聞きながらねそべる  
エンコー帰宅し父親を一瞥し、向こうの部屋へ向かう

エンコーの父 おい、ただいまぐらい言えよ  
エンコー (ふてくされて父の方をみる)

エンコーの父　　なんだその目、なんだその目って聞いてんだよ  
エンコー　　（視線を避ける）  
エンコーの父　　文句あんなら言ってみろ  
エンコー　　…ただいま  
エンコーの父　　はー  
エンコー　　行ってもいい  
エンコーの父　　ああ…(レースが始まり音量を上げる) 待ってました、待ってました

エンコー、行きかけるが

エンコーの父　　お前のパンティーな、今度うんこつけとけ  
エンコー　　…  
エンコーの父　　聞こえたか  
エンコー　　なんで？  
エンコーの父　　なんでじゃねーよ、言われた通りしろ  
エンコー　　…何枚？  
エンコーの父　　全部だよ、全部、けちけちすんな、新しいの買ってやっから、な  
エンコー　　…  
エンコーの父　　おい、聞いてんのか  
エンコー　　はい

レースの音量がより上がる

エンコーの携帯電話の音が鳴る

エンコーの父　　うるせーよ、はやく取れ、(馬に) 行け、行け、行け…  
エンコー　　もしもし、ごめん、え？まじすか、それ初耳なんですけど、それはない

レースが終わる

エンコーの父、静かに奥へ消える

エンコー　　ええーうーんどしよっかなー、あたしほらバイトしてるから忙しいじゃん

手にバケツを抱え、入ってくると水槽の水をすくい、エンコーに浴びせる

エンコー　　ちょ

エンコーの父、エンコーをむちゃくちゃに殴る。その間何も喋らない。だたひたすらに殴り続ける

### ●オッケー牧場（森の中）

ウソップ道に迷ったふうにやってくる。あたりを行ったり来たりするがやはり方角がわからない

父、殴り疲れて退場

エンコーも別方向へよろよろと退場

ウソップ　　なんだよ本当、しゃれになんねーし

ライオンの雄叫び

ウソップ　　なに今の

ライオンがシマウマを喰らう様子

ウソップ　なんか食ってるし

ライオンのゲップしウソップに気がついた様子で『おや？』

ウソップ　え！

ライオンがじょじょに近づく足音

ウソップ　助けてー食われるー誰かー

おっさんライオンの格好でラジカセを持ち登場

おっさん　どうしたウソップ

ウソップ　どうしたじゃねーよ、なに今の

おっさん　ああ今度な、むつごうろう的な牧場に変えようかと思ってんの、アルプス的にもそろそろ限界があんだろ、な

ウソップ　知らねーし

おっさん　ウソップやるか、主役のライオン

ウソップ　はあ？

おっさん　（ラジカセを押す）

ムツゴロウの声　おや、おなかぺこぺこのライオンちゃんが、耳長族の村を襲ってますね、あ、村長ちゃんを噛みました、かわいいですね…おなか一杯ですね（切る）

おっさん　飯だぞ、ウソップ

ウソップ　いらねーし、なんだよこれ

ナレーターの声　今日も平和なムツゴロウ王国なのでした

ウソップ　全然平和じゃないし、襲うなよ人を

ナレーターの声　お疲れ様、ウソップ！

ウソップ　もう出てんのオレ？

おっさん　強がんな、ウソップ

ウソップ　ウソップ言うな、なに勝手に決めてんだよ

おっさん　しょうがねーな…(ポケットからアメを取り出し、道なりに並べる)

ウソップ　何してんの

おっさん　ここ深いからお前が迷わないように

ウソップ　なんだよそれ、イソップかよ

おっさん　ブー、グリム童話でした

ウソップ　むかつくおっさんだな…どうでもいいし、オレもう帰るし

おっさん　本気かウソップ、帰っても金は返さねーぞ

ウソップ　そんなん知るか、じゃな

ウソップおっさんと反対方向に去る

おっさんアメを蒔きながら退場

### ●オッケー牧場（昼、屋内）

ゾク、リスカ、シンナーそれぞれテーブルやイス、作り立てのたこ焼き、飲み物を持って来て昼食の準備をし一旦去る

おっさんにおいを嗅ぎながらやってくる。たこ焼きを見つけ躊躇なくかなりの勢いでワンパック食べる

リスカ、ゾク、シンナーやってきておっさんを見つける



リスカ あー  
ゾク あー  
シンナー あ、あー  
おっさん (口一杯なのでgoodのサイン)  
シンナー (マネねてgood)  
ゾク goodじゃねーよ、何勝手に食ってんの  
おっさん ごひそうさま…  
リスカ ごひそうさまじゃねーよあんた  
おっさん うまかった、いつ買って来た  
リスカ あたしが作ったんだよ  
おっさん リスカが！うそー、えー(かなり驚く)  
リスカ 本当だよ、な  
シンナー うん、タコはね、おれが川で釣ったの  
おっさん ふうん(茶を飲む)  
ゾク そっち驚けよ、川でタコ釣った方をさ  
おっさん あ、でもな、なんか一個変なのあったぞ、あれタコかな  
リスカ ひっととしてそれ、バツゲーム用に作った金魚じゃ  
おっさん 金魚かあれ、どうりで(茶を飲む)  
ゾク なに涼しい顔で茶なんか飲んでんだよ  
おっさん (暑い顔をする)  
ゾク そういう問題じゃねーよ、第一それ冷たいだろ  
おっさん わりー、ほら緊張でさ、朝飯食ってなかったし  
リスカ 理由になんないなねそんなの、本当さーあんたまじ  
おっさん まじまじ  
リスカ 信じらんない  
おっさん でもまずかったし、金魚  
ゾク そういう問題じゃねーよ、罰ゲームの金魚だぞ、ロシアな金魚だぞ  
おっさん そうか…(ハラをさぐり金魚を出す)じゃほら  
リスカ いらないし  
おっさん バツゲーム！バツゲーム！(たこ焼きにねじ込もーとする)  
ゾク やめろよ…もう食おう

3人、おっさんに背を向け無言で食べ始める

おっさん なに、なーに、そんな怒んなって、ほら金魚ならここに、ね、  
リスカ コレから許可なく作ったもん食べないでね  
おっさん 勿論、勿論  
ゾク うまい  
リスカ 本当  
おっさん しかしさ、新しい女子は？呼んでこいよ、あーお前ら新人いじめ、それよくない、いじめだめ  
ゾク こねーんだよ、誘ったけど  
おっさん 誘い方がわるいんじゃねーの、もっとやさしくさ  
リスカ 当分出てこないよあの感じじゃ  
おっさん そうなの、あとほら、ウソップ、帰るとか行ってたぞ  
リスカ 会ったの  
おっさん うん  
リスカ どこで  
あのおっさん 森  
リスカ 迷ったらどうすんの  
おっさん 目印つけてきたから  
リスカ でもあそこけっこう深いじゃん  
おっさん ほらオレ強制するタイプじゃないから、ま、日暮れまでに戻らなかつたら、最悪レスキュー隊に連絡  
ゾク おっさん、オレが言うのもおかしいけどさ、一応金もらってたから、そういうとこちゃんとした方がいいんじゃないの

おっさん うーん…オッケー  
ゾク オッケーじゃねーよ  
おっさん とにかく待とう、帰って来るって、な、じゃ午後から『作業』  
シンナー ええ  
おっさん ええじゃないよ、お前らみたいなのは頭悪いんだから体動かさないともっとバカになっちゃうよ、よし今日も自然から学ぼう…あそくだ、あとな手紙届いてたぞ(懐から出しリスカとシンナーに差し出す) ほれ

二人、手紙に目もくれない

おっさん どうした  
リスカ …どうせくだらないやつでしょう、あっち置いといて  
おっさん おう、シンナーは  
シンナー おれも  
おっさん あそ、じゃ食ったら小屋に集合な(二人のベットに手紙を置き退場)

なんとなく黙々と食べている

ゾク は一食った、食った、うまかったぞリスカ  
リスカ うん、ありがとう  
ゾク シンナーのおかげでもあんな  
シンナー だね  
ゾク 食ったら、クソしたくなつたな  
リスカ ゾク、食事中  
ゾク わりーわりー、じゃクソでもすっか誰も邪魔すんなよ(退場)

シンナー、リスカ、ゾクの退場を確認し、一目散に手紙を取り読む

キャスター付きの小さな簡易畑を押し来る。水槽から水を汲みじょうろで水をやる

#### ●ゾク家、夜)

ゾクの母、泥酔した状態でふらつきながら出て来る。ゾク達が昼食にしていた、飲みものをかたっぱしから飲み干したかと思うと、イスをそこいらに投げつけ、泣き出す。

シンナーとリスカ静かに退場する

ゾク (眠い目をこすりながら) どうしたのお母さん  
ゾクの母親 なんでもない、なんでもないのよ、ごめんね、起こした  
ゾク お酒飲んだの  
ゾクの母親 少しね、もう飲まないから、大丈夫、大丈夫だよ  
ゾク (テーブルにあるコップを取り水槽から水をすくい、母に差し出す)  
ゾクの母親 ありがとう、こうちゃんは優しいね  
ゾク …一緒に寝よう  
ゾクの母親 今行くから先に寝てて  
ゾク 一緒に行こう  
ゾクの母親 お母さんまだお仕事あるから、先に寝てて  
ゾク トイレ  
ゾクの母親 もう一人で行けるでしょう  
ゾク 怖いよ  
ゾクの母親 お母さんの事困らせないで、まだ仕事があるの  
ゾク 一緒に行こうよ  
ゾクの母親 もう赤ちゃんじゃないでしょう  
ゾク でも…  
ゾクの母親 (ヒステリックに) お仕事って言ってるでしょう！！

ゾク …ごめんなさい  
ゾクの母親 言う事聞いて  
ゾク ごめんなさい  
ゾクの母親 (怒りを鎮めて) ごめんね、こっち来て  
ゾク (母の側へ)  
ゾクの母親 (ゾクを抱きしめる) ごめんね、ごめんね…悪いお母さんだね  
ゾク 僕お母さんの事大好きだよ  
ゾクの母親 ありがとう  
ゾク お母さんは?  
ゾクの母親 お母さんも  
ゾク じゃ同じだね  
ゾクの母親 こうちゃん、いいって言うまで目閉じてて (ロープを自分とゾクの首に巻く)  
ゾク お母さん…  
ゾクの母親 大丈夫、心配ないから…目を閉じて、大丈夫、大丈夫だよ…

ねずみ男登場

●オッケー牧場 (昼、屋外)

ウソップアメを拾いながら出て来る、しばらくゾクを見ているが

ウソップ おい、おーい

ゾクの母親、ねずみ男 静かに去る

ウソップ 何してんの、お前  
ゾク うん?  
ウソップ 別に関係ねーけど  
ゾク お前こそなにしてんだよ  
ウソップ いやオレは…森のゴミ拾い  
ゾク ふーん、腹、減っただろ  
ウソップ 別に  
ゾク 強がんな、昼飯たこ焼きだから、お前の分もあるぞ  
ウソップ …  
ゾク どうした  
ウソップ …本当だった  
ゾク うん?  
ウソップ 誰もいなかった、ヒデーよ  
ゾク さっさと飯食って来い (畑に水をやる)  
ウソップ …なにそれ  
ゾク 趣味だよ趣味、ここじゃ『作業』以外あんまりすんこともねーからな  
ウソップ 『作業』って  
ゾク そのうちわかる…そうだいいもんみしてやろうか  
ウソップ いやいいよ  
ゾク いいから、みてろ (畑の前で氣を集中させ念じる) うーーーーん、はい (土から野菜の芽が出る)  
ウソップ え、なにそれ  
ゾク もっかい行くぞ、ふーーーーん、はい (芽が伸びる)  
ウソップ なにそれ、すげーし、普通にすげーし  
ゾク ふーーーーん、はい!! (芽が伸びる)  
ウソップ トトロじゃん、トトロじゃんお前  
ゾク まーこんな事も出来るようになる  
ウソップ なんかわかんねーけどすげー、まじすげー  
ゾク だてにゾクいたわけじゃねーよ

ウソップ それは関係あんのか  
ゾク 飯食い行くぞ、ウソップ、そろそろいいだろう…  
ウソップ 何が  
ゾク なんでもねーよ、行こう

二人去る

●おっさん（深夜、家）

男、仕事帰りの様子で帰宅。散らかったイスやテーブルを見、怒りを感じながら片付ける。  
女、寝起きな様子で、申し訳なさそうに出て来る  
女 おかえり  
男 ああ…  
女 私がやるのに  
男 （黙々と片付けている）  
女 今日ちょっと疲れちゃってね、そのまま寝ちゃったんだ  
男 そうか、お疲れ…（片付けを終え、イスに座りタバコをふかす）  
女 ご飯は  
男 食って来た  
女 今日帰れないんじゃないかった  
男 最終の新幹線に間に合ったから  
女 そう  
男 （会話を拒むようにタバコを吸っている）  
女 相談があるんだけど…聞いてくれる  
男 （腕時計を一瞥する）  
女 明日にするね  
男 明日も早いんだ  
女 そうだよな  
男 こないだの話なら、オレ反対だって言ったよな  
女 …  
男 第一、七海がかわいそうだろ  
女 …  
男 小学校に上がるまで母親と一緒にいないでどうすんだ、お前が働かなくなったら十分やって行けるんだから、もう少し家の事しっかりやれよ  
女 ごめんなさい  
男 （タバコを消し）寝る（退場）

女、広い部屋で一人ぼつんと取り残される。

●オッケー牧場（午後、屋内）

リスカたこ焼きを持ってベッドの前へ来る

女、男のバック、灰皿等を持ち、退場

リスカ （はしごを上り）ねえあんた、ねえーって  
ヒッキー …  
リスカ お屋のあまり持ってきたけど食べない、ねー（イライラしてベッドのカーテンを開ける）  
ヒッキー （足の爪を噛んでいる）  
リスカ あんたまだ爪噛んでたの、しかも足  
ヒッキー （カーテンを閉める）  
リスカ 本当不思議少女だね、なにあんたメルモ？つうかメルモは爪噛むの  
ヒッキー うん  
リスカ うんって噛まないでしょうよ、見た事ないもん…あのさーお腹空かない？

『ギュー』と腹が鳴る

ヒッキー …全然  
リスカ 空いてんじゃんよ、今の、思いっきり

『ビュー』と腹が鳴る

ヒッキー …は一食った食った  
リスカ ビューってなに？おかしいよ、もう強がんのもいい加減にしたら、（はしごを降り）そんなに出てくんの嫌ならいいから、ここ置いとくから後で食べるんだよ  
ヒッキー （ベットからヒッキーの手だけが出、いつの間にか作った滑車からザルを下ろし）入れて  
リスカ はいよ…っていつ作ったのこれ！  
ヒッキー 入れて  
リスカ あんた器用、実は工作得意な子？（たこ焼きを入れる）  
ヒッキー （ザルを引き上げ一旦ベットの中に入れるが、戻す）  
リスカ え、なに  
ヒッキー チンして  
リスカ はー  
ヒッキー 冷たい  
リスカ んなもんねーよ、あったかいうちに食わないあんたがわりーんだかんね、そのまま、食べ  
ヒッキー （渋々滑車をあげて、たこ焼きをベットの中に入れる、中で仏壇の鐘をならす）

『チン』

遠くからチェーンソーの音が聞こえる。  
ゾク、シンナーが丸太を運んでくる、あのおっさんが設計図を見ながら、細かくと指示する。

ヒッキー 何してるの？  
リスカ ああ…『作業』  
ヒッキー 『作業』って  
リスカ だから『作業』だよ、森にある木ぶった切って、なんか作ってだよ、おっさんがな、で、その手伝い、ここではな、大抵午後は『作業』だから、あんたもそのうちすんだかんね  
ヒッキー やだ  
リスカ やだって…みんな好きでやって訳じゃねーよ、ただヒマだしさ、まー運動だと思えばいいよ

おっさん リスカお前も手伝え、ここ切ってほしんだよ  
リスカ おっさんがやれよ  
おっさん お前の方切るのうまいだろ…ガハハハハ  
リスカ もうそのネタ飽きた、今行くから待ってて  
おっさん おう…

作業をしながらおっさん、ゾク、シンナーがやがて退場していく

リスカ しかしおっさんもうまい事考えたよな、あたしら見たいなガキ集めて、誰の山かもわかんねーこの場所にほったて小屋建てて、何が学園だよ、そのうち訴えられんじゃん  
ヒッキー 逃げないの  
リスカ うん？  
ヒッキー ここから、逃げないの  
リスカ 逃げるってどこへ…こう思ってんじゃねえ？これはなんかの間違いだって…  
ヒッキー 別に  
リスカ 裸足でさ、この山くだって、でかい道路に出て、ヒッチハイクするんだ、何日もかけて、風呂にもはいんねーで、飯も食わねーでようやく家にたどり着く、『ただいま』ってチャイムを押そうとすると、夜なのに家が真っ暗で、しょうがねーから植木鉢の下にある鍵を取りに庭へ回る、そこからなりビングが見えるんだ、中からかすかな明かりが見える、なんだろうってこーガラスの奥を覗くんだろ

ねずみ男 (ろうそくをたてたケーキを持ち登場)

リスカ そしたら小さな明かりが消えて、部屋の明かりがついた、同時に拍手と笑い声をご近所迷惑ってくらい外まで響いて来る(ろうそくの日を吹き消す)妹の誕生日…みんな笑ってた、パパの笑い声、ママの笑い声、妹の笑い声…そういえば、最近、あいつらの笑い声聞いた事なかったなって…あいつらこんな風に笑えるんだって、気がついたら走ってたよ、バカみてえだろ?なんかの間違いじゃねーかって必死になって…だからあたしはここにいるしかない、一人で立つ事が出来るまで…まーすぐには言わないけど、出て来た方がいいよ、それにおっさん、それほど悪いやつじゃねーし

ヒッキー リスカ

リスカ うん

ヒッキー おいしかったよ

リスカ おう

ヒッキー ありがとう

リスカ これ貸な

ヒッキー うん(ザルで、たこ焼きの空いたパックを下ろす)

リスカ なに?

ヒッキー 捨てて

リスカ はーそれくらい自分でやれよ…もう、なんだかなー(渋々パックを持ち退場)

ウソップ二人の会話を聞いていた様子で登場

ウソップ なんだよ、さみしくなかねー、怖くなかねー、孤独なんかじゃねー、オレは楽しい、オレはうれしい、オレは大丈夫、オレは大丈夫、だからお前どっか行けよ

ねずみ男退場

●オッケー牧場(屋内、急激に夜)

ウソップ、ゾク、リスカ、寝間着で登場

ゾク ほら、寝るぞ

ウソップ 飯は

ゾク さっき食っただろ、ほら(ベットへ促す)

みんなベットに入りカーテンを閉める

おっさんウイスキーを持って登場、屋とは違う険しい様子で酒を飲み出す。

水道の蛇口から水がしたたる音

おっさん敏感に反応し辺りを見回す。気を取り直し再び飲み出す

水道の蛇口から水がしたたる音。

無視して酒を飲む

電話が鳴る。

しばらく無視しているが鳴り止まないなので電話を取りに退場

おっさんの声 はい、もしもし

エンコーの声 …

おっさんの声 もしもし、誰だ

エンコーの声 …おっさんか

おっさんの声 ああ

エンコーの声 また飲んでんのか

おっさんの声 飲んでるよ、飲んじゃわりーのかよ

エンコーの声 変わってなーな、少しは量減らせよ

おっさんの声 関係ねーだろ、誰だお前、ひどい声だぞ  
エンコーの声 あんたもな  
おっさんの声 うるせー、誰だ、ようがねーなら切るぞ  
エンコーの声 …まだ言ってくれるか  
おっさんの声 何をだ  
エンコーの声 言ってくれよ、アレ（ひどい咳をする）  
おっさんの声 おい大丈夫かよお前  
エンコーの声 大丈夫だよ、なあ言ってくれよ  
おっさんの声 お前…エンコーか  
エンコー電話を切る  
おっさん電話を切り登場し再び酒を飲み始める

ウソップ、眠れないようで、ベットから出てあのおっさんの背後に立つ

ウソップ あの  
おっさん （酒を吹き出す）びっくりしたーなんだ、ウソップか、ノックぐらいしろよ  
ウソップ いや、でも  
おっさん あ、戸がないもんな、わりーわりー、どうした？  
ウソップ なんか、眠れなくて  
おっさん うん  
ウソップ 明かりをたよりにここまで  
おっさん なんだそれ、昔の旅人かよ  
ウソップ え…  
おっさん なんでもね、ホームシックか、眠れないときはほら酒のみゃねれんぞ、ほれ  
ウソップ 僕はいいです  
おっさん そうなの、まじめだな  
ウソップ あの…  
おっさん うん  
ウソップ 僕はこれからどうすればいいでしょうか  
おっさん なに急に、普通にしていやいいよ、飯には不自由しねーし、この大自然でさ、のんびり  
ウソップ いつまで  
おっさん え？  
ウソップ いつまでここにいればいいんですか  
おっさん 機が熟すまでだろ  
ウソップ それはいつまで  
おっさん …初日からそんな思い詰めんな、時間がくればどうにでもなる、人生そういうもんだ、な、習うより慣れろ、な  
ウソップ …  
おっさん わかったら寝ろ、明日からお前も『作業』だから、体動かしてるとな、悪い気がどっか行くから、そういうもん、な  
ウソップ あの…僕は生まれない方がよかったんでしょうか  
おっさん （吹き出す）なにいきなり  
ウソップ だって  
おっさん なんだ  
ウソップ 親にも見捨てられて、どこへも帰れなくて、こんなんなら最初から生まれない方がよかったのかなって  
おっさん 本当にそう思うの  
ウソップ はい  
おっさん まーウソップがそう思うならそうなんじゃないの  
ウソップ え  
おっさん えってなんだよ、ウソップがそうおもうんならそうなんだろう、お前は生まれるべきじゃなかった、な  
ウソップ ひどいですよ  
おっさん 何が  
ウソップ ここは否定する所でしょう普通  
おっさん お前否定してほしいのかよ？だったらそう言え、僕こう言いますけどここは否定して下さいって

ウソップ　めちゃくちゃじゃないですかそれ  
おっさん　お前だろめちゃくちゃは、オレはな否定すんのやめたの、だから何にも否定しねー  
ウソップ　僕の過去知ってるんですね  
おっさん　はあ？  
ウソップ　僕がどうやつか知ってるから、そんな事言うんでしょ  
おっさん　そんな事って？  
ウソップ　死んじまえとか  
おっさん　言ってねーだろ  
ウソップ　もういいです(出て行こうとする)  
おっさん　待て、おい  
ウソップ　なんですか  
おっさん　お前なんか誤解してっぞ、ここに来る奴の事なんてなんにも知らねーよオレ、ただ、預かって欲しいって  
言われて預かってるだけ、それ以上でもそれ以下でもねー、来るもの拒まずだ、だからウソップことなんて何にも知ら  
ねーよ  
ウソップ　僕、ひどいやつなんです  
おっさん　オッケー  
ウソップ　うそばっかついて、友達裏切って  
おっさん　オッケー  
ウソップ　いじめられて、学校に行けなくて  
おっさん　オッケー  
ウソップ　家で暴れて、親ボコって  
おっさん　オッケー  
ウソップ　何度も何度もボコって  
おっさん　オッケー  
ウソップ　何もオッケーじゃないですよ  
おっさん　何度でも言ってやる、オッケーって、オレは何も否定しねー、だから何度でも言ってやる、オッケー、  
オッケー、オールオッケー、それがこのルールだ、オッケー牧場のルールだ…わかったか、オッケーだぞウソップ、  
お前はオッケーだ  
ウソップ　でも  
おっさん　お前が否定された数言ってみろ、同じだけオッケーつってやる、オレが帳尻合わせてやる、なあ  
ウソップ　はい  
おっさん　いいじゃねーかウソップ、どうせならでかい嘘つけ、世界中ひっくりかいしちまうぐらいのデケー嘘を  
よー、な  
ウソップ　…隕石が落ちて来たぞー  
おっさん　え！（思わず立ち上げる）  
ウソップ　あ、嘘です  
おっさん　なんだよ、ハエーよ  
ウソップ　すいません  
おっさん　オッケー、その調子、じゃもう寝ろなにせ明日から『作業』だから  
ウソップ　はい…おっさん、今の話、みんなには内緒にしてもらえませんか  
おっさん　うーん、でもどうかな…（コップを持ちあげると糸電話のように底に糸が繋がりに床まで伸びている）

ベットから他の全員がコップで作った糸電話を耳に当てて姿を表す

みんな　ウソップ、オッケー  
ウソップ　聞いてたのー  
おっさん　ウソップ、ここでは隠し事なしだ、せーの、  
みんな　オッケー  
ウソップ　オッケーじゃねっつうの、なんだよー（恥ずかしそうにベットへ潜り込む）

おっさん再び酒をのみはじめる

●おっさん（深夜、オッケー牧場と家）

水滴のしたたる音がする



それを無視するように酒を飲む

水のしたたる音がおおきくなっていく

おっさん 水とめろよ、出っぱなしだぞ

男の声 ただいま

男登場し濡れた傘のしずくをはらう。主張帰りのような姿。

男 電話したんだぞ、電気くらいつけとけ（あたりを見回し）なんだいないのか…（イスに座る）

おっさん 水とめろ、早く水とめろ

水槽が泡立ち、水かさが増していく

男 なんだいるのか

おっさん 早くとめろ、早く

男 いるなら返事くらいしろ

水槽の水が溢れ出す

風呂桶とシャンプーの容器がぶつかる音がこだまする

おっさん 早くとめろ、早くとめろよ！！何やってんだ早く、早く（錯乱状態でわめき出す）

ベットで寝ている子供達がヒッキー以外ベットから飛び起き、おっさんを押さえ込み口々に『落ち着け』『大丈夫だよ』等々の言葉をわめくが、おっさんの耳には入らない。ヒッキーが心配そうにベットから彼らの様子を見ている。

おっさん 水をとめろ、水をとめろ、水をとめろ

男、静かに退場

暗転

#### ●オッケー牧場（翌朝、屋内）

ベットにおっさんが縛られて寝ている

子供達はどこかに出かけた様子でとても静か

おっさん目が覚め、縛られている事に気がつく。

おっさん おーい、おはよう、昨日は悪かった、飲み過ぎた、反省してます

返事がない

おっさん （なんとかロープをほどこうと試すが外れない）誰かおっさんトイレ行きたい、しちゃうよーここでしちゃうよー、ゾクーお前のシーツにしちゃうからなー

返事がない

ヒッキー (ベットのの中から) みんないないよ  
おっさん おお、居たの君  
ヒッキー ヒッキー  
おっさん ヒッキー？  
ヒッキー さっきそう決まったの  
おっさん おお、ヒッキーか、おはよう  
ヒッキー おはよう  
おっさん じゃこれ外してくんない、ヒッキー  
ヒッキー ダメ  
おっさん なんで  
ヒッキー みんなが来るまでダメ  
おっさん おっさん漏れそうなのよ  
ヒッキー 我慢して  
おっさん 出来るかな  
ヒッキー 我慢して  
おっさん がんばるけどさ…他の奴らは  
ヒッキー 買い物  
おっさん こんな朝っぱらから  
ヒッキー もうすぐお昼だよ  
おっさん …そんな寝てた…  
ヒッキー 怖かった  
おっさん うん？  
ヒッキー 昨日  
おっさん ああ、悪りいー悪りいー  
ヒッキー 本当だよ  
おっさん ごめん  
ヒッキー おっさんの事みんな心配してるよ  
おっさん うん…そうだな…  
ヒッキー 大丈夫  
おっさん 大丈夫、ちよっと頭いてーだけ  
ヒッキー じゃ飲まなきゃいいのに  
おっさん それが出来たらいまごろこんな所にいねーよ  
ヒッキー え？  
おっさん …いってー、頭いてー  
ヒッキー …  
おっさん キツイし、これキツイし  
ヒッキー (ベットから出て、奥へ下がりコップを持って来る。水槽から水をすくいおっさんに差し出す)  
おっさん おう…

ゾク、リスカ、シンナー、ウソップ両手に紙袋を持ち登場

ゾク (ヒッキーを見て) お！  
ヒッキー (慌ててベットに戻る)  
ゾク 何で戻んの、いんだよ出て、おいヒッキーって  
ヒッキー …  
ゾク なんだよなあー、つうかおっさん起きたんだ  
おっさん これ取って、トイレトイレ  
リスカ その前になんか言う事あんじゃないの  
おっさん …昨日はすいませんでした、皆様に大変ご迷惑をおかけいたしました  
ゾク それだけ？  
おっさん それだけって

ゾク …みんな行こう  
おっさん おうおうおうちょっと待ってちょっと待って、なに  
ゾク なにじゃねーだろ、おっさん何回目だよ、酒飲んであんな風になんの何回目  
おっさん うん  
ゾク それな立派な病気、アル中、わかってんの  
おっさん …  
ゾク 酒やめろ  
おっさん えー  
リスカ えーじゃねーよあたしら本気で言ってんだよ  
おっさん でもそれはさ  
ゾク シンナーだってやめただろ、おっさんだって出来る  
おっさん うーん  
ウソップ そう思ってオレらいろいろ買ってきたんだよ（袋から取り出す）まずパンシロン  
シンナー のぶ前にのぶ！  
リスカ だめじゃんそれ、なに胃を正常に戻してんの  
ゾク いいんだよ、これを酒が飲みたくなったら水なしで飲む、そうすると苦いから、口ん中気持ち悪くなって飲み  
たくなるって  
リスカ そうなの…  
シンナー あとコレ、解毒ガム、これ効くよ  
ウソップ 他にもいろいろあるかねおっさん  
おっさん おう、サンキュー  
ゾク 夜はおっさんを監視するから、単独行動禁止  
おっさん えー  
ゾク えーじゃねーよ、オレら真剣なんだかんな、もうゼッター飲むなよ、リスカ  
リスカ はい（牧場にある全てのアルコールを集めた瓶を出す）じゃみんな捨てよ

それぞれに手渡し、みんなで、水槽に酒を捨てる。

おっさん あーあーあーもったいねーことすんなお前ら、どうせならさ、いまあの飲んでからにしない  
シンナー それがダメなの、やめるときは今からやめる  
おっさん うーん（納得がいていない）  
ヒッキー （ベットのの中から）あたしも  
みんな え？  
ヒッキー あたしも、外に出るから（ベットから出る）おっさんも、もう飲まないって約束して  
おっさん うん…  
ヒッキー （最後の一本を水槽へ捨てる）

ゾク、小指を出す。それぞれ、小指を出す。最後におっさんが小指を出そうとするが縛られているので出せない。

おっさん 取って

ウソップとリスカがロープをほどく

おっさん じゃ、約束（小指を重ねる）  
ゾク せーの  
みんな 指切りげんまん、嘘ついたらはり千本の一ます、指切った

おっさん よし、じゃ飯食うか飯  
ゾク その前に…おい！（呼ぶがもじもじとして出てこないの奥へ下がり、エンコーを連れてくる）  
おっさん エンコー…  
エンコー よっ！  
おっさん 戻ってきたのか  
エンコー 戻って来たよ  
あのおっさん …おかえり

エンコー　　ただいま…ごめんね  
おっさん　　なんにも謝る事なんかねーよ  
エンコー　　ごめん…（気を失う）  
みんなで、エンコーの元へ駆け寄る。  
エンコーをベットへ運び、それぞれ退場。

●オッケー牧場（午後、屋外と屋内）

おっさん、ゾク、シンナー、ウソップ、ヒッキーそれぞれ、舞台両脇にある舟の断片へ板を運んだり、釘で打ったりしている。次第に舟の輪郭が形作られ始める。

リスカ、エンコーが眠るベットの脇で本を読んでいる。

エンコー　　（目が覚め、起き上がる）  
リスカ　　大丈夫  
エンコー　　うん  
リスカ　　なんか飲む、それか食べる  
エンコー　　いい…まだ『作業』続いでんだ  
リスカ　　そう…一生続くんじゃないアレ  
エンコー　　好きだなおっさんも  
リスカ　　なんか人生かけてるよねアレに…一体なにがしたいんだか、まーなんでもないのかもね、ただあたしらを働かせるためのなんか…  
エンコー　　私もなんか手伝うか  
リスカ　　寝てなよ  
エンコー　　でもなんかさ  
リスカ　　いいって、今日くらい  
エンコー　　でも  
リスカ　　その方があたしもさぼれるし  
エンコー　　（横になり）人、増えたね  
リスカ　　昨日だよ、それまではずっと同じ面子  
エンコー　　シンナー、やめたんだって  
リスカ　　そう…がんばったよあの子  
エンコー　　全然進歩ねーのあたしだけか…  
リスカ　　え？  
エンコー　　うんうん…もうちょっと寝るね  
リスカ　　うん  
エンコー　　リスカ  
リスカ　　大丈夫、ここに居るから  
エンコー　　うん…（眠る）

競馬中継の音が聞こえ出す  
作業しているあのおっさん達、一人、また一人と退場  
リスカもイスに座ったまま眠る

●エンコー（昼、家）

エンコーの父、イヤフォンを耳にぶら下げながら登場

しばらくうろうろとしているがエンコーをベットの外へ引きずり出し唐突に殴る。  
それを黙って見ている

エンコー　　ごめんなさい、ごめんなさい、ごめんなさい、リスカ助けて  
リスカ　　ばーか（退場）

父が黙々と殴っている

暗転

●オツケー牧場（夜、おっさんの部屋）

水滴のしたたる音がかすかに聞こえる

ベットではゾク、ウソップ、リスカ、ヒッキー、エンコーが眠っている

明転

おっさん、お茶の入ったペットボトルを持ってやって来る。その後ろにシンナーが一定の距離を置きつけて来る。

おっさん、お茶を飲む。シンナー、ビニール袋から空気を吸う

おっさん座る。シンナーも座る

おっさんあくび。シンナーもあくび

おっさん おい

シンナー うん？

おっさん オレ寝たいんだけど

シンナー いいよ

おっさん （横になる）

シンナー （至近距離からあのおっさんを見、眠った様子なので上着を脱ぎかける）

おっさん （振りほどき）暑いよ、なんかもやーとするし

シンナー 寝なよ

おっさん 寝たいけど、なんか寝れねー

シンナー ダメだよ酒は

おっさん うん…つうかそういう問題でもなくてさ、大丈夫飲まないから

シンナー じゃ寝なよ

おっさん だから、シンナーも寝ろ

シンナー おっさんが寝たらね

おっさん 大丈夫だって、お前ら全部捨てたんだろ、見張ってなくたって飲める訳ないじゃん、な

シンナー でもどっかにかくしてるだろ

おっさん え…

シンナー ぜってー隠してるよ

おっさん わかるか

シンナー ああ、だから見張るしかねー

おっさん …だな（観念した様子で寝る）

水滴の落ちる音がそこかしこから聞こえ出す

おっさん シンナー

シンナー うん？

おっさん 蛇口、全部閉めたよな

シンナー ああ

おっさん だよな

浴槽に水をはる音

おっさん （耳を塞ぐが雑音は消えない、おびえた様子でパンシロンを飲む）

暗転

●オツケー牧場（午後、屋外）

## 明転

おっさん、シンナー、リスカ。ゾク、ウソップ、ヒッキー、エンコーの2班に分かれ『作業』をしている。  
舞台両脇で、流れ作業のように板が手渡され、最後に骨組みへ板を打ちつける、おっさんとゾク。（両脇の骨組みを中央に移動し合わせると船を横から見たときのような流線型を形作るが、この時点でパッと目にはまだそれが舟だとはわからない）

ゾク おっさん、こっち大体出来たぞ

おっさん おう（ゾク側へ行き、湛然に出来をチェックしている）ま、いっか

ゾク まいっかじゃねーだろ、完璧じゃん

おっさん よくやったよくやった

ゾク 次にすりゃいい

おっさん そうだな、そろそろ飯の時間だからお前ら先あがれ、もう少ししたらおれもあがるから

ゾク よし、行くぞ

## みんな退場

おっさん持ち場へ戻り、作業を再開する。

## ヒッキー登場

おっさん おう、どうした

ヒッキー なにかする事なかったから

おっさん そうか

ヒッキー だいぶ出来てるの

おっさん おう

ヒッキー 完成まであとどのくらい

おっさん さーなー、もう少しかもしんねーし、まだまだ先かもしんねー

ヒッキー なにそれ、どっちよ

おっさん （答えない）

ヒッキー 私たち何作らされてんのかな？…教えて

おっさん 秘密

ヒッキー じゃヒントは

おっさん ヒント？

ヒッキー だって目的もなくただ働くのなんか身がはいんないじゃん

おっさん 例えばだな、ヒッキー、エジプトのピラミッド、あれを作らされた人夫にファラオがこれは何々です、さーがんびりなさい、って言ったと思うか？それと同じだ

ヒッキー ふーん、でヒント

おっさん だから

ヒッキー ウソップがね、何の意味もないんじゃないかって、だたあたしたちを働かせるために意味もないことさせてんじゃないかって…それはそれで楽しいからいいけど、あたしはなんかとっても大事な意味があるんじゃないかって、思うから

おっさん …意味はある、完成もする、これでいいか

ヒッキー うん…じゃこれが完成したらどうするの？

おっさん うん？

ヒッキー 次は何作る？

おっさん 次か…

ヒッキー 次

おっさん どうしような…考えた事もなかった

ヒッキー そう…じゃがんびってね（退場）

しばらく続けるが突然雨が降り出す。

おっさん、最後の仕上げをしている。

傘をさしたゾクの母親登場し、静かにおっさんの元へ。会釈する。  
おっさん、すぐに誰か気がつき会釈。  
傘と雨音がじゃまで、二人の会話や表情がわからない。

ゾク傘をさし、もう一本を手に持ちやってくる。

ゾク ヒデー雨、おっさん傘持って来たぞ（母親に気がつく）  
ゾクの母親 （ゾクに笑いかける）  
ゾク （しばらく茫然としている）  
ゾクの母親 （ゾクに歩み寄るが）  
ゾク （同時に後ずさりし、退場）  
ゾクの母親、おっさん。それぞれ別方向に退場

●オッケー牧場（夜、おっさんの部屋）

雨は勢いを弱めるがまだ降り続けている  
ゾク、シンナー、リスカ、ヒッキー、エンコーが寝間着姿でベットへ潜り込む

おっさん登場し、その後にウソップが続く

おっさんが座ると一定の距離を置き、ウソップも座る

おっさん あのさ  
ウソップ なに  
おっさん お前らいつまで、それ続けるの  
ウソップ おっさんが、酒をやめるまで  
おっさん もう一週間飲んでないじゃん  
ウソップ ああーそろそろ飲みたい時期  
おっさん そういうことじゃなくて  
ウソップ 最低三ヶ月は監視しないと  
おっさん まじかよ  
ウソップ まじまじ、で、一ヶ月後に酒を買ってる  
おっさん なにお祝い  
ウソップ ちげーよ、で、酒を目の前にしても飲まない実験を一ヶ月続けて、次に酒をコップに入れても、飲まない実験を一ヶ月、で最後卒業試験として、おっさん以外おれら全員で酒を飲む、酒の席でも、飲まない事が確認された時、監視をとく  
おっさん 長い実験だなそれ、誰のアイディア  
ウソップ ゾク  
おっさん ふーん  
ウソップ …どうなんのゾク  
おっさん どうなるって？  
ウソップ だってさっきの人…  
おっさん うん、ま、なるようになるさ

ゾク、ベットから起き上がり退場

ウソップ 雨、やまないね  
おっさん うん…  
ウソップ 子供の頃よく見た夢でさ、雨がずーと降って、道路も家も、水で一杯になって、そこをさ、浮き輪つけたオレが泳いでんの、みんなカヌーとかサーフィンとかして泳いでんの、普通だったら災害とかで、大騒ぎすんだけど、ガキの頃ってさ、地震なんかで停電になるとさ、なんかわくわくすんのね、あれなんでかな？  
おっさん さー

ウソップ 家族が一つになるみたいな…だからオレ停電好き

ゾク登場

ゾク ウソップ、今日オレ変わるよ

ウソップ でも昨日もやったじゃん

ゾク 変わるから、な

ウソップ …うん、じゃ、寝んなよ

ゾク 寝ねーよ

ウソップ退場

ゾク、無言で座る。なんだか思い詰めた様子。

おっさん どうした…

ゾク あいつと何話した

おっさん あいつ？ウソップ？

ゾク ちげーよ

おっさん お母さんか

ゾク …

おっさん お前と同じじゃねーの、多分

ゾク ふざけんなよ

おっさん 何が

ゾク 今頃なにのこのこ出てきてんの

おっさん 酒やめたって？すげーな

ゾク 今更母親面すんよ

おっさん 親はいつだって親だろ

ゾク テメーの都合ばっかじゃん、都合の悪いときは見捨てといて、ちょっと余裕ができたら帰ろうだ、ふざけんなよ、おれはオメーのおもちゃじゃねー一つの

おっさん そう言ったのか

ゾク あたりメーじゃん

おっさん ふーん

ゾク もう顔も見たくねー、あんたを親なんて認めねー、ゼッター認めねー

おっさん そう言ったのか…

ゾク それくらい言う権利はあんだろ、テメーの顔見てるとぶっ殺したくなったからとっとと消えろって、もう二度と現れんな

おっさん 言ったのか

ゾク …あんた誰だよ、あんたなんか知らねーよ、オレを産んだ奴はなー、酒飲みのあばずれで、自分のガキ殺そうとしたキチガイで、もうこの世にいるはずねー、とっくに野たれ死んでるぜって

おっさん 言える訳ねーよな

ゾク …

おっさん 優しいお前が言える訳ねーよ、仲間思いで、優しくて、誰かが傷つくのが怖くてよ、そんなら自分が真っ先傷つこって奴が、そんな事言えるはずねーよな

ゾク 何がごめんだよ、何がさみしかっただよ

おっさん 言われたのか？

ゾク …

おっさん 想われんじゃん

ゾク じゃなんで一回も連絡よこさねー

おっさん …

ゾク あいつらに来る手紙、どんな気持ちでみてたかなんてあいつにはわかんねーだろよ、顔みせて謝ったら、泣きつくとも思ってたのか、オレはそんな弱くねーぞ、てめーの為に流す涙なんて一滴もねーぞ…なんか言ってくれよ

おっさん ゾクのしたいようにしろ、それでいい

ゾク 無理だよ

おっさん なにが



ゾク　今更無理だよ…ここでオレどうすりゃいいの  
おっさん　今まで我慢してたこと全部すんのさ、だだコネねて、親の事困らせて、怖くなったらわんわん泣いてよー、何かが上手にできたら、褒めてもらえ、すごいね、がんばったねって、褒めてもらえ  
ゾク　出来るわけねーじゃん  
おっさん　なんで  
ゾク　…出来るかな  
おっさん　出来るさ  
ゾク　その後で  
おっさん　…  
ゾク　またダメになったら…戻って来てもいいですか  
おっさん　オッケー

シンナー、ベットからゾクの荷物が入ったバックを投げる

シンナー　ゾク  
ゾク　うん？  
シンナー　よかったな  
ゾク　ああ  
リスカ　さみしくなるよ  
ゾク　ああ  
ヒッキー　いろいろありがとう  
ゾク　うん  
ウソップ　ゾク、お前なんか大嫌いだ  
ゾク　ああ  
ウソップ　ホントに大嫌いだぞ  
ゾク　オレも  
ウソップ　そうなの？

みんな笑う

エンコー　バイバイ、ゾク  
ゾク　またな、エンコー、またなみんな（走って退場）

みんな、手を振ってゾクの帰宅を見送る

おっさん、横になる。ウソップベットから起き上がり、おっさんの側で横になる。

おっさん　どうした、さみしくなったのか  
ウソップ　見張り  
おっさん　飲まねーよ  
ウソップ　いいから

エンコー以外、次々ベットから出て、おっさんの側に横になる

おっさん　なんだ、見張りはこんないらねーだろ  
リスカ　ウソップだけじゃ心配だし  
ウソップ　（いびきをかく）  
おっさん　はや！  
リスカ　ね  
シンナー　今日はみんなで  
おっさん　まーいいや…エンコーは？  
ヒッキー　さあ  
シンナー　クソじゃない  
おっさん　夜に！

シンナー 女は夜クソする生き物なんだ  
リスカ 勝手に決めんなよ  
ヒッキー 偏見ですよ  
シンナー 男は朝、女は夜  
リスカ だから勝手に決めんなって

(おならの音)

徐々に明かりが落ちて行く

おっさん 屁すんなよシンナー  
シンナー してねーよ  
おっさん じゃ誰だよ

無言

おっさん 女子か？  
リスカ してねーよ  
ヒッキー あたしだって  
ウソップ (寝言) えー火星ですか…  
ヒッキー なんだ火星って  
ウソップ 了解  
リッキー 了解したみたいですね  
リスカ ばかじゃんこいつ

暗くなる

シンナー なんだか今日…  
リスカ うん？  
シンナー 眠れねー  
ヒッキー うん  
リスカ うん  
おっさん 寝るぞ…おやすみ  
エンコー (ベットから出て、暗闇の中でタバコを吸う)

●おっさん

女、登場、包帯を腕に巻いている  
男、急いで登場

男 どうした  
女 ごめんなさい、あたしが目を離したすきに  
男 相手の運転手は  
女 今警察が事情を聞いてる、七海は明日には退院できるって  
男 どうして目離した  
女 ごめんなさい  
男 何のためにお前がついてんだよ  
女 本当に一瞬だったの  
男 言い訳はやめろ、お前母親だろ、なにしてんだよ、何ならできる、何なら責任もってできる  
女 …ごめんなさい  
男 親が子供の命守れないでどうする、親が子供救えないでどうする、そのためにお前がいるんだろうが…先生に  
会ってくる、どこだ  
女 …あっち  
男 (退場)

ねずみ男登場し、女の包帯をした女の腕をさする

女　ありがとう…

暗転

●オッケー牧場（午後、屋内と屋外）

明転

男子『作業』の続きをしている。

女子3方から大きな布を広げ縫い始める。リスカとヒッキーは器用に縫うが、エンコーは苦手なようで、はかどらない。いらついている様子だが黙々と縫い続ける。

ヒッキー　もうすぐだね  
リスカ　うん？  
ヒッキー　一ヶ月  
リスカ　ああ  
ヒッキー　実験第二段階  
リスカ　どうなんだか  
ヒッキー　出来るって、だってこの一ヶ月、飲んでないじゃん  
リスカ　まーね  
ヒッキー　このまま出来るよおっさんなら  
リスカ　そううまくいきゃいいけどね

間

ヒッキー　もう準備した  
リスカ　まあね  
ヒッキー　どこにかくしてんの  
リスカ　どこでしょう  
ヒッキー　教えてよリスカ  
リスカ　うーん  
ヒッキー　ねー  
リスカ　あたしのベッドの下  
ヒッキー　危ないってそんなとこ  
リスカ　見ねーよおっさんは、あれで、そういうプライベートな空間には立ち入らないし  
ヒッキー　楽しみだね、明日  
リスカ　なんか少し怖いけどな  
ヒッキー　見張り2人にしたほうよくない  
リスカ　シンナーもそう言ってたな、後でみんなで相談しよう  
エンコー　ああーん（キレる）  
リスカ　どうしたの  
エンコー　…ごめん、うまくいなくて  
ヒッキー　こっち終わったら手伝うよ  
エンコー　…  
ヒッキー　ね  
エンコー　ありがとう…

シンナー　いいんじゃない、なんかが出来そうな予感？

おっさん　だな、完成間近！

ウソップ 本当  
おっさん 多分な…じゃ今日の『作業』終了！  
みんな はい  
おっさん 女子は飯の支度、男子は出来るまで休憩  
リスカ ずるーい  
おっさん 冗談だよ、男子は風呂の準備  
シンナー、ウソップ はい

シンナー、ウソップ、おっさん退場  
リスカ、ヒッキー布をたたみ、退場

競馬野実況中継が聞こえ出す

エンコーその場でタバコを吸う。

競馬の中継の音量がじょじょに上がって行く

じっとタバコを吸っている、やがて、タバコの灰が地面に落ちる。無表情で立ち上がり、ベットからウイスキーの瓶を取り出し、退場

暗転

#### ●オッケー牧場（深夜）

懐中電灯を持った人影が、舟を破壊する  
それに誰も気がつかない。

#### ●オッケー牧場（朝）

明転

エンコー以外が壊された舟を見つめている

リスカ ひどい  
シンナー ああ…  
おっさん よし、オッケー、じゃ今日は修理  
シンナー 待てよおっさん、誰やったのこれ  
おっさん さーなー誰でもいいだろ  
シンナー よくねーよ  
おっさん オッケー  
シンナー オッケーじゃねー  
おっさん どうしたシンナー、おかしいぞ  
シンナー おっさん、これみんなで作ったもんだよこれ、あんただけの問題じゃないの、ここにいる全員の問題、だ  
ろ  
ウソップ、リスカうなずく  
シンナー こんな事されてオッケー言えっかよ  
おっさん シンナーそれでもオッケーなのがここでの決まりだろ…忘れたのか  
シンナー おっさん、叱る事と、許すことは別でしょう  
おっさん 許す？  
シンナー こいつをやった奴が、ちゃんと反省すんなら許してやるよ、でもさ無条件で許すって違うんじゃないの  
おっさん シンナー、お前いつから人を裁いたり許したりできるくらいえらくなった？

エンコー （登場）どうしたの？…ちょひどい、誰がやったの  
シンナー それを今から探すとこだ

おっさん いいや、もう終わった…そうだろ

誰も何も言わない

おっさん これはオレが直す、手伝うのがいやなら、好きにしろ…

シンナー、ウソップ、リスカ、ヒッキー退場

エンコーはなんとなく手伝う

次第に日が暮れ、おっさん退場。

エンコーがひとり残る

競馬中継の音が聞こえる

エンコー (ひどい頭痛のようで頭を抱える)

シンナー (背後からその様子を見ている) 罪の意識か?

エンコー はあ?

シンナー 正直に言えよ

エンコー なんの話だよ

シンナー みんな思ってる、多分おっさんも

エンコー …あたしのこと疑ってんの

シンナー 事実だろ

エンコー 勝手に言ってるよ(頭痛)

シンナー ごまかすじゃねーよ、ちゃんとあやまれ、おっさんとオレらに謝れ

エンコー はいはい

シンナー (むなぐらをつかむ)

エンコー 頭いてーからでかい声出すなよ

シンナー ちゃんと話せよ

エンコー はいはい

ヒッキー (登場) シンナー何してんの

シンナー こいつが犯人だった

ヒッキー え!

シンナー ちゃんと謝れ、心から謝れ

エンコー 離せよ

ヒッキー シンナーやめて、お願いだからやめて

シンナー ヒッキーは黙ってる

ヒッキー でもね、あの

シンナー オレがきちんと謝らせっから

ヒッキー あの、あたし、あの…

シンナー なんだよ

ヒッキー だから、あの、なんて言うか

シンナー いいからあっち行ってろ

ヒッキー でも

シンナー お前恥ずかしくねーのか、お前どこまで腐ってんだよ

エンコー だからさー

シンナー とぼけんな、なにニヤ付いてんだよ、本当お前おかしいぞ、オレは許さねー、ちゃんと心から謝るまで許

さねーぞ

エンコー はいはい

シンナー はいはいじゃねーだろ

ヒッキー シンナー

シンナー 本当なんだよヒッキー、言いたいことあんなら言えよ

ヒッキー だから…あの  
シンナー なんてお前がエンコーかばうんだよ  
ヒッキー だって  
シンナー 謝んなきゃ始まんねーだろ、違うか  
ヒッキー わかった、ごめん  
シンナー じゃあっち行け  
ヒッキー …  
シンナー 違うの、話すから、私から話すから…あのね  
エンコー 悪かった！  
ヒッキー え？  
エンコー あたしが悪かった  
ヒッキー ちょっとエンコー  
エンコー むしゃくしゃしてて…なんかにあたりたくてさ  
シンナー やっぱりかよ  
エンコー ごめんなさい  
シンナー お前救えねーな  
エンコー ごめん  
シンナー みんな変わってんのにお前だけ…（退場）  
エンコー …  
ヒッキー どうして  
エンコー （退場）  
ヒッキー （退場）

雨が降る

●オッケー牧場とおっさん（夜、おっさんの部屋）

男の声 ただいま…

男登場し濡れた傘のしずくをはらう。主張帰りのような姿。

男 電話したんだぞ、電気くらいつけとけ（あたりを見回し）なんだいないのか…（イスに座る）

おっさん （顔を悪くしながらふらふらと、男の脇を通り登場し、座る）

浴槽にお湯をはる音

おっさん （耳を塞ぐ）

水槽の水が泡立つ。少しづつだか、水かさが増していく。

男 （お湯をはる音に気がつき）なんだいるのか、返事ぐらいしろよ

おっさん 水…水…

お湯の音がじょじょに高鳴り、風呂桶がぶるかる音がこだまする。

男 出しっ放しじゃないのか

おっさん 水…水…(耳を必死に塞ぐ)

エンコー、ウイスキー隠し持ち登場

エンコー おっさん！おっさん！！

水の音がやむ

おっさん うん？

エンコー 大丈夫か

おっさん ああ…大丈夫、大丈夫…

エンコー おっさん？

おっさん うん

エンコー ごめんな

おっさん 何が

エンコー あれ…

おっさん ああ、気にすんな、誰だってむしゃくしゃするときある、なあー

エンコー …うん

おっさん なんにも気にしてねーから、それにここはオッケー牧場だぞ、なんにもかも、オッケー、エンコー、オッケー、エンコー、オッケー

エンコー (無言で涙をこらえる)

おっさん どうした、気にすんな

エンコー …

おっさん オッケー

エンコー …やっぱりな

おっさん うん

エンコー …なんでもない

おっさん そうか…じゃ寝るか

エンコー その前にさ、プレゼント、じゃーん (ウイスキーを見せびらかす)

おっさん ああ…もう一ヶ月か

エンコー (コップを出しウイスキーを注ぐ)

おっさん それはまだ先じゃねーの

エンコー 今日は特別、飲んでいいぞ

おっさん え？

エンコー いいぞ、飲んで

おっさん …ああ、そういうあれか、一瞬まじかと思った

エンコー まじだよ

おっさん え？

エンコー まじで飲んでいいんだって

おっさん …(意味を測りかねる)

エンコー 一ヶ月我慢したんだから、そのお祝い、今日はいろいろごたごたしたからさ、なんかみんなも気使ってどうぞ、だって(目の前に差し出す)

おっさん 冗談だろ

エンコー まじだって

おっさん でもな

エンコー じゃこうしなあたしはもう寝るから、あと好きにして、飲みたくなや飲まなきゃいいし(立ち上がる)

おっさん (酒をじっと見ている)

エンコー じゃ、おやすみ(退場)

おっさん うん

水が溢れる

男 いいかげん、水とめろよ

おっさん (コップを握りしめる)

水槽の水が溢れ出す

風呂桶がぶつかる音がこだまする。

おっさん (コップを口元まで運び静止する)

女(妻)、茫然とした様子で歩いて、おっさんの前に立つ

おっさん、女を顔を見上げる

女 ようやくあたしのこと見てくれたね

おっさん、怯えてコップになみなみとつがれた酒を飲み干す

女 知ってる…あたし…

おっさん、動揺した様子で酒を注ぐが、震えてうまく注げない。たまらずラッパ飲み。

女が静かに退場

おっさん。いきなり酒が回り、倒れる

桶がぶつかる音が再びする

雨音がじょじょに高くなる

水槽の水があふれる

おっさん 水をとめろ…頼む…水をとめてくれ、誰か、誰か…

雨音に光がつぶされていきそうな暗転

### ●オッケー牧場 (朝、屋内)

明転

おっさんがその場で寝ている。その脇に空のウイスキー瓶が転がっている。

シンナー、ウソップ、リスカ、怒りのはげ口を見いだせないように、おっさんをにらんでいる。ヒッキーはベットの中。

シンナー (たまらず立ち上がり、退場し、バケツを持って登場。水槽の水をあのおっさんにぶっかける) いつまで寝てんだよ

おっさん (起き上がる) なんだ

シンナー なんだよじゃねーだろ…なんでこうなんだよ、せっかくみんなまとまりかけてたのに、なんでこうなんだよ (バケツを投げつけ退場)

おっさん (空の瓶を手にし、みんなを見回す)

ウソップ、リスカ、退場

音楽

おっさん、ずぶ濡れのまま、はがされた板を持ち、一旦退場すると、工具箱をもって登場し、元の位置に打ちつける。

布を持ち、はしごを立て、その先に結わえ、ベットに打ち付ける。



両脇の舟の部分にロープをくくり付け重そうにしながら、舞台中央に移動させる。

ヒッキー (ベットから出ておっさんの耳元で何かささやき退場)

舟の裏側に隠したウイスキー瓶を出し、水槽に捨てる。

そんな事をしているうちに日が暮れていく

●オッケー牧場とおっさん (夜、屋外)

エンコー (登場) おっさん

おっさん おお…手伝うか

エンコー あたしここ出てくよ

おっさん どうした急に

エンコー あたし…もうダメだから

おっさん なんだダメって

エンコー 全部嫌になった

おっさん 全部?

エンコー あたしがいると迷惑だろ

おっさん どうした

エンコー 言ゃーいいじゃん、あたしにはめられたって

おっさん うん?

エンコー とぼけんなよ、それで大人のつもりか、正直に言ってやんねーとあいつらかわいそうだぞ

おっさん …お前だってそうだろう…ヒッキーから聞いたよ…悪かったな、オレもお前疑った、最低だな…あれが出来たらここ無くなるんじゃないかって、オレどっかいくんじゃねーかって

エンコー そうなんだろう

おっさん まさか

エンコー あんたはきれいごとばっかだ

おっさん そうだな

エンコー 言ってる事と腹ん中と真逆だろ

おっさん …

エンコー 嘘つきで自分ことしか考えねー他の大人と一緒にだ

おっさん ああ

エンコー 偽善者ぶるんじゃねーよ (挑発するように舟の一部を蹴る)

おっさん (だまって見ている)

エンコー なんでもオッケーつってごまかすんじゃねーよ (舟につばをはく)

おっさん …

エンコー 怒れよ、怒れよ、これ大事なもんなんだろう、大事なもん傷つけられて、大事なもんも守らねーで、なにへらへらしてんの、なにオッケー言ってるんだよ

おっさん エンコー…世の中にはお前を殴らないやつだっているぞ

エンコー なんだよそれ、それがむかつくんだよ

おっさん オッケー

エンコー あんたに言われたくねーな

おっさん オッケー

エンコー あんたにだけは言われたくねー、本当は自分が大ッ嫌いなあんたには言われたくねー

おっさん …

エンコー オッケーオッケーうるせーんだよ、何がオッケーだよ、なんにもオッケーじゃねーくせに、何も認めてねーくせに

おっさん …もっと言っていていいぞエンコー

エンコー バカ、くず、まぬけ、変態、最低野郎、お前なんか死んじまえ、お前なんか消えちまえ

おっさん もっと言えよエンコー…頼む…水がな、あふれてとまらねーんだ、どうしてもとまってくれねー、だからオレは、舟をつくらなくちゃいけねー

舞台に雨が降る

男の声　　ただいま…

男登場し濡れた傘のしずくをはらう。主張帰りのような姿。

おっさん　　…電話したんだぞ、電気くらいつけとけ  
男　　（あたりを見回し）なんだいないのか…（イスに座る）  
おっさん　　（顔を悪くしながらその場に座る）

浴槽にお湯をはる音  
水槽の水が泡立つ。少しづつだか、水かさが増していく。

おっさん　　なんだるのかよ…  
男　　いるなら返事ぐらいしろ  
おっさん　　（耳を塞ぐ）

お湯の音がじょじょに高鳴り、風呂桶がぶるかる音がこだまする  
水槽の水が溢れ出す

男　　出しっ放しじゃないのか、おい  
おっさん　　おーい、なんだよあいつ…  
男　　（不機嫌にタバコを消し、浴室へ向かう）ママ…ママ…  
おっさん　　水をとめてくれ…

女　　（静かに登場）おかえり  
男　　（茫然と後ずさりながら登場）どうした…  
女　　あんまり言う事聞かないから、頭冷やしなさいって、パパに叱ってもらうから、それまで頭ひやしなさいって  
男　　…ママ  
おっさん　　水をとめてくれ…  
男　　（女の顔を見る）  
女　　ようやくあたしのこと見てくれたね、知ってた  
おっさん　　水をとめてくれ  
女　　あたし髪切ったんだよ  
おっさん　　（男に）なにやってんだよ、早く助けてやれよ、そんなつめてーとこにいつまで七海入れとく気だお前  
男　　そうか…  
おっさん　　（男にすがりつき）そうかじゃねーだろ、そうかじゃねーだろ、ばかやろう、ばかやろう、テメーなんか死ん  
じまえ！！テメーなんか死んじまえ

おっさん　　許せねー、許せねーよ

男と女が退場しようと動きかけるが、その腕を掴む

おっさん　　だからオレは舟を造らなくちゃいけねー、もう誰も溺れねー舟を、造らなくちゃいけねー、いつか溺れち  
まったお前らを乗せる舟を…

音楽

エンコー　　その舟に…あたしも乗っていいか  
おっさん　　…いいよ

シンナー、リスカ、ヒッキー飛び出して来る

3人 その舟に、乗ってもいいか  
おっさん ああ

ウソップ (急いで登場) おっさん外見ろよ、すげー事になんてんぞ、洪水だよ 大洪水、川って川が氾濫した、氷が溶けたにちがいねー、隕石の仕業かもしんね、神様がやらかす気だ、墮落した世界を飲み込んで全部水に流す気だ、波がこんな、川がこんな、本当だぞ、嘘じゃねー、嘘じゃねーぞ、だから…オレも  
おっさん (うなずき) 出航準備!!  
みんな はい

子供達二手に分かれて、両端にある、舟の部品を半回転させる。すると両方が重ね合わせる形になる。それを合体させる。客席からは舟を横からみた状態になる。  
三段ベットを舟の中央に移動させる。

シンナー オレ、くすりやってた  
おっさん オッケー  
リスカ あたし、手首切った  
おっさん オッケー  
ヒッキー あたし引きこもってた  
おっさん オッケー  
ウソップ オレ、嘘ばっかついてた  
おっさん オッケー  
エンコー あたしエンコーしてた  
おっさん オッケー  
エンコー 何度も  
おっさん オッケー

おっさん オレ…自分が嫌いだ  
みんな オッケー  
おっさん 大ッ嫌いだ  
みんな オッケー  
おっさん 本当か、オッケーか  
みんな オッケー  
おっさん …帆を、上げろ

舟の帆が上から下りて広がる

『OK』と書いてある

水夫の格好をした子供たちと、それより少し偉そうな服装のおっさんの姿が見える。

おっさん この舟をアノ箱舟と名付ける、丘が全て水で覆われ、溺れるしか道がねー一時、墮落した人間のその狭間に舟は流れ着く、ネズミ達の巢の岸边に舟は流れ着く、出発、進行

舟が動きだし

暗転

おわり